

外国人材受入れ事例

建設業

会社名：(株)赤尾組
URL：http://akao.biz/
業種：建設業（建設工事業）
所在地：飯塚市新飯塚19-26
 ブランドール赤尾1階
従業員：32名（うち外国人2名）

<外国人材受入れ状況>2023年3月時点（外国人2名）
○技能実習3号 ベトナム人2名（2018年11月～）

①企業の声（受け入れて良かったこと・苦労したこと）

- ・建設業は慢性的な人手不足であり高齢化も著しく進んでいる業界です。人材確保にはあらゆる努力や工夫を重ねてきましたが、業界の抱える様々な問題等も影響し、これまで成果をあげることができませんでした。
- ・外国人材を受け入れることにより、この問題の大部分が解決されました。
- ・外国人材の受入れ前は、言葉や文化、生活習慣の違い等が大きな課題になると危惧していましたが、想定していたよりも苦労が少なく短期間で解消されました。



作業風景

山笠

②受入れや定着を進めるにあたっての工夫・取組

- ・会社に慣れるよりも先に、日本での生活に慣れることを優先し、1か月程度は業務外でも弊社の教育係ができるだけ共に時間を過ごし、買い物や銀行取引の仕方など、生活していくうえで必要なことを教えるようにしました。
- ・郊外にある弊社の資機材センター内に、菜園や養鶏を行えるスペースを提供し、休日を有意義に満喫できるようにしました。また、母国の野菜や果物を育て収穫し、母国の料理を同僚に振舞ったりすることで絆が深まり、ホームシックの軽減にも繋がっています。
- ・飯塚の市民祭である山笠へ参加させました。会社の同僚だけではなく、あらゆる方々との関わり合いを体験し、伝統的な祭りを通じて、日本の歴史や文化を学ぶ良い機会となっています。
- ・技能試験の合格やスキルアップの目標値をクリアした場合は、賃金額を改定しています。（日本人技能者の給与査定に準じた賃金評価を行う）



菜園



養鶏

③外国人本人の声

- ・会社の先輩や同僚が、話しやすく友人のような間柄のため、疑問や相談が気兼ねなくできる。
- ・会社の寮が、本社と同じ建物にあり、他の社員やその家族も同じフロア（階）に住んでいることから連帯感があり、孤独感や疎外感がない。また、社長や役員の方とも頻りに接することが多く、親近感がわく。
- ・仕事の面で一技術者として適正に評価してもらえる。また、信頼して業務を任せてもらえるのでやりがいがある。
- ・休日や有休休暇は、公共交通機関をつかって遠方まで行き、食事や買い物を楽しんでいる。

忘年会



永晶会での料理バザー